

## デザイン塾：マツダが挑む！タイム軸スデザインの創験

平成 28 年 1 月 11 日(月)、マツダ R&D センター横浜を会場として、デザイン塾の 2015 年度活動：「デザイン塾：マツダが挑む！タイム軸スデザインの創験」が開催されました。本活動は、デザイン塾、日本機械学会 デザイン科学研究会、日本設計工学会 研究調査分科会、日本デザイン学会 デザイン理論・方法論研究部会の共催により行われました。本塾は、「マツダのクルマづくり」（第 1 部）、「未来モビリティ創生プロジェクト」（第 2 部）、および「マツダ R&D センター横浜見学会&懇親会」（第 3 部）の 3 部構成で開催されました。

はじめに、デザイン塾主催の松岡より、「タイム軸スデザイン」の文脈や理念について説明がなされ、同デザインに関するショートムービーも放映されました。

第 1 部においては、マツダ株式会社 藤田健二氏と高見明秀氏にご講演いただきました。R&D 横浜業務グループマネージャである藤田氏からは、「マツダ R&D センター横浜の紹介」というタイトルで、R&D センター横浜の沿革や業務内容について説明がなされました。

「未来モビリティの提案」というタイトルで、ご講演いただきました。ご講演後の聴講者との質問&ディスカッションにおいては、ユーザの価値観や嗜好に合わせたモノづくりへの期待や、サービスシステムを用いた新たなビジネスへの可能性に関するトピックを中心に活発な議論が行われました。

第 3 部においては、過去・現在・未来の車両の見学会が行われ、過去から現在までに至るマツダのクルマづくりを実感できる有意義な見学会となりました。また、並行して行われた懇親会においても多数の方々にご参加いただき、異なる領域の方々の交流を深める場となり、盛況のうちに終了いたしました。



会場の様子



高見明秀氏による講演の様子



藤田健二氏による講演の様子



見学会の様子